

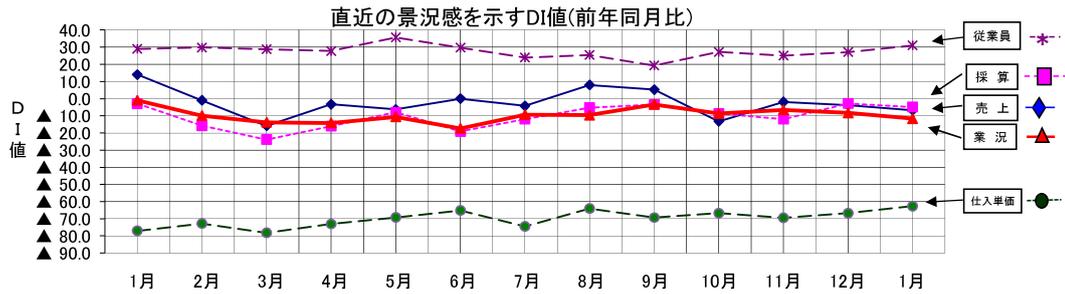
【1月の概要】

直近の景況感は悪化、
先行き見通しは改善に向かうも人手不足感は強まる

直近の景況感を示すDI値では、「売上DI」が前月の▲3.7から▲6.8へ悪化し、「採算DI」も▲2.8から▲4.9へ悪化した。「業況DI」も▲8.4から▲11.7へ悪化した。一方、「仕入単価DI」は▲66.8から▲62.6へ改善したものの、コスト面の負担感は依然として強い状況がうかがえる。「従業員DI」は27.1から31.1へ上昇し、人手不足感が強まっている。

向こう3か月の見通しでは、「売上DI」が前月比+10.4ポイント、「採算DI」が+7.4ポイント、「業況DI」が+10.1ポイント、「仕入単価DI」が+7.9ポイントと、いずれも前月から大幅に改善しており、寄せられたコメントからは景況感の持ち直しを期待する声も一部に読み取れる。一方、「従業員DI」は前月比+6.7ポイント上昇しており、人手不足感が一段と強まっている。人材確保の難しさを指摘する声が引き続き多く、人手不足の厳しさは先行きにおいても続くとの見方が示されている。

コメントでは、原材料等のコスト上昇が続く中での採算面への影響や、人手不足を背景とした受注対応、生産体制について言及する声もみられた。あわせて、価格転嫁の進展に関する内容や、冬場の天候による需要動向への懸念が含まれており、先行きについては慎重な姿勢が示されている。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数:Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)
※従業員=(不足)-(過剰)

	2025年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年	1月
売上	▲3.7	▲14.0	▲15.8	▲3.4	▲6.3	0.0	▲4.3	7.9	5.3	▲13.2	▲1.9	▲3.7	▲3.7	▲6.8	
採算	▲2.8	▲15.8	▲23.8	▲16.0	▲8.0	▲19.1	▲12.0	▲5.3	▲3.5	▲8.8	▲12.0	▲2.8	▲2.8	▲4.9	
業況	▲8.4	▲9.9	▲13.9	▲14.3	▲10.7	▲17.4	▲9.4	▲9.7	▲3.5	▲8.8	▲6.5	▲8.4	▲8.4	▲11.7	
仕入単価	▲66.8	▲72.8	▲78.2	▲73.1	▲69.2	▲65.2	▲74.4	▲64.0	▲69.3	▲66.7	▲69.4	▲66.8	▲66.8	▲62.6	
従業員	27.1	29.0	29.7	28.7	27.7	35.7	29.6	23.9	25.4	19.3	27.2	25.0	27.1	31.1	

- ・前月比でマイナス幅が減少(改善)したDI値:仕入単価+4.2ポイント
- ・前月比でマイナス幅が増加(悪化)したDI値:売上▲3.1ポイント、採算▲2.1ポイント、業況▲3.3ポイント
- ・前月比でプラス幅が増加(悪化)したDI値:従業員+4.0ポイント(人手不足感が強まった)

【向こう3か月間の見通しを先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
11月回答	▲ 0.9	▲ 5.6	▲ 9.3	▲ 44.4	25.9
12月回答	▲ 7.5	▲ 10.3	▲ 15.9	▲ 47.7	23.4
1月回答	2.9	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 39.8	30.1

- ・前月比で見通しが改善したDI値:売上+10.4ポイント、採算+7.4ポイント、業況+10.1ポイント、仕入単価+7.9ポイント
- ・前月比で見通しが悪化したDI値:従業員+6.7ポイント(人手不足感が強まった)

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電カメンテナンス	人材不足の影響から、外注を活用しつつ利益が見込める工事に注力している。今年は売上・利益とも一定程度の確保を見込むが、今後の降雪状況によっては作業の中止や延期が生じる可能性があり、天候動向を注視している。
	土木・建築	資材価格は高止まりし、一方で建設の需要は供給を上回っており価格転嫁は進んでいる。年末の降雪は思いのほか少なく、稼働工事に与える影響は大きくない。1～3月の降雪によっては除雪売上に影響を与えるため、注視している。
製造業	溶接加工	従業員不足が顕著となり、生産能力を落とさざるを得ない状況にある。求人募集は行っているものの、人員確保は進まず、現在の人員体制での対応を余儀なくされている。
	食品加工	2026年1月より大幅な値上げを実施した影響で、2025年12月に駆け込み需要が発生した反動から、1月は売上減となっている。加えて、主原料であるコメの価格上昇が業績に大きな影響を及ぼしている。
卸売業	コーヒー	値上げ分による売上増にとどまっておらず、先行きは市場動向に左右される状況にある。一方で、大マクロが5億円で競り落とされるなどの動きも見られ、景気に上向きの兆しを感じる場面もある。
小売業	ホームセンター	12月末にかけて気温が高く、降雪量も少ない状況が続いている。今後もこの傾向が続けば、冬の暖房用品や除雪用品の販売は前年を下回ると見込まれる。
	パン	天候、特に降雪状況によっては客足が鈍ることが見込まれるが、業務のメリハリと計画的な対応により、生産性向上に取り組んでいる。
サービス業	警備請負	侵入強盗事件の増加を背景に、個人宅のセキュリティ需要は好調を維持しており、防犯カメラを中心に高スペック・高価格帯商品の注目度が高い。
	貨物運送	12月は例年だと繁忙月であるが、物量は低調に推移した。ドライバーをはじめとした人員も減少しているのが特に混乱もなく、例年のような忙しさはなかった。

※本コメントは、調査結果の一部を編集・要約したものです。内容の趣旨を損なわない範囲で表現の調整を行っています。

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 1月分 各業界からのコメント

建設業
<p>人材不足もあり、なかなか依頼された工事を全部こなすことができませんが、外注を使いながら何とか利益の確保できる工事だけやるようにしています。今年は売上、利益ともある程度は確保できそうですが、雪の降り具合等天候によって作業が中止（延期）になる可能性があり、できるだけ降らないでほしいというのが本音です。</p> <p>資材価格は高止まりし、一方で建設の需要は供給を上回っており価格転嫁は進んでいる。年末の降雪は思いのほか少なく、稼働工事に与える影響は大きくない。1～3月の降雪によっては除雪売上に影響を与えるため、注視している。</p>
製造業
<p>従業員不足が顕著になり生産力を落とさざるを得なくなっている。求人等は当然募集はしているが今いる人間で可能な限り努力が必要になってきている。</p> <p>2026年1月より大幅な値上げを実施した為、2025年12月に値上げ前の駆け込み需要があり、2026年1月は売上減になります。主原料のコメの値上がりで大打撃を受けております。</p>
卸売業
<p>値上げの分だけ売り上げが増加しているだけで、今後の市場動向に影響されると思うが、大マグロ5億円のせり価格がつくところを見ると、そろそろ景気が上向いているのかもしれない。</p>
小売業
<p>12月末までに関して、気温が高く、降雪量は少ない。今後もこの傾向が続くと、冬の暖房用品や除雪用品の販売は昨年を下回ると予想される。</p> <p>天候(特に雪の場合)により、客足が鈍くなることが予測される。 業務への注力のメリハリや計画的に実施することで生産性の向上をはかる。</p>
サービス業
<p>最近の侵入強盗事件の多さから個人宅のセキュリティ需要が喚起され好調を維持し今後もこの傾向はしばらく続く予想される。特に防犯カメラに対する関心が強く高スペックの高価格帯の商品への注目度が高い。</p> <p>インフルエンザやコロナの罹患者は若干名居たものの、現時点では業績への影響も殆ど無く順調に推移できている。引き続き、社内での流行が無いよう、予防対策への注意喚起を行う。</p> <p>好材料も特になく、不変となります。物価上昇がジリジリと上がって来ています。</p> <p>12月は例年だと繁忙月であるが、物量は低調に推移した。ドライバーをはじめとした人員も減少しているので特に混乱もなく、例年のような忙しさはなかった。</p> <p>市内は大雪の影響がない事から人流も例年並みだが、物価高が続いているため、財布のひもが固いように思える 燃料価格が下がっていることは誠に有難い 反面、他の分野で財源確保の義論が進むことを警戒したい</p>